
生ハムと生交わる
淫魔が時…
瑞色あき
Aki Mizuiro
ダメッ！何度も擦り込まないで…
1


ポチャン
私を助けてくれたのは
誰だったんだろう……
忘れられない——……
あの唇……


数年後
ハッ
やっぱり
ここだ……
いた!!
ちょっと
返しなさいよっ
愛里沙(ありさ)!!


虫よけ
スルー
ウォーターミスト
タイプ
無添加
いきなり
奪い取って
どういう
つもりよっ
だって
あんた
肌だけじゃなく
所かまわず
スプレー
吹きかけてたから…
当たり前
でしょ！
このあたりは
虫ばっかりで
気持ち悪い
じゃないっ


それに
虫刺された肌で
撮影したく
ないもの～
虫が
かわいそう……
は？


それにっ
ズサァ
モデルなら
虫に刺されない
体質にして
おかなきゃっ
ニオイの
キツイ物
食べてない？
まだあるわ！
足の裏を
消毒すると
刺されない
らしいわっ
キュピーン
私が
くさいって
いうの!?
愛里沙～っ
みんな～
撮影の時間
だよ～
どこ
行ったんだよぉ
また
愛里沙のせいで
もめてるんじゃ!?


愛里沙のやつ
変に素直な所
あって　よけーなこと
言っちゃうん
だよなぁ
はやく
止めないとっ
……
てちてち
あわわわっ
ガサガサガサ


ほ～ら
お肌ボロボロ
じゃない！
徹夜？お酒？顔もむくんで
パンパン
プロ意識あるの!?
スパーン
間に合わず
なんですって
えええええ!!
ぎにいいい
徹夜して
乙女ゲームして
るんだから
しょーがない
でしょっ


あんた
ちょっと人気
あるからって
調子乗ってん
じゃないわよ!!
今日の撮影
出られなくして
あげる！
安心して
少し傷を
つけるだけだから


!!
思ったままを言って
何が悪いの？
はっ放しなさいよ！
もうやめなよ…
ん？
あれは……


メキィ
!?
あの人は…!!
グラ…
きゃっ
また……
会え……
ガクン
やっ
やばいよ
逃げよ！


そんな…
ドクン
ドクン
会えたのに……
ドクン
ドクン
ガッ
あれ……？


どうしてあの時のままの姿なの？
何年も前のはずなのに……
ガッ
んっ
人工呼吸？
待ってて私息してるのに……
レロ…
ちがう……
ヒトン


ビクッ
うっ
なに!?
なにか変――…
傷口が
熱い……
んんっ
舐められた
箇所からも
身体の奥からも
熱くなって…
ムクッ
くっ
ビクン
ビクビク
チロ…
あっ…!
あっ
快感が
押し寄せてくる!!
レロ…ぺろ…


傷口……
舐められてる…っ
ゾクゾク
んふぅ…んっ
ペロン
なんでこんなに
私の身体
感じてるの…
フルフル
ビクン
しびれてくる
……っ
ぐっ
んぐ!?
づづづっ
ガガガ


やだぁ
ハァハァ
ゴクッ…
！
カリッ
見てみろ
傷口を
ハァハァ
ハムッ
え!?
傷がふさがってる
治って!?
……痛っ
スキンッ
愛里沙――っ


うっ
ハラリ…
愛里沙……？
ヤ…
イ
イ
ん…
もっと
感じろ
ハァ
ハァ
ここどこ？
死にたくない
だろう？
私……
どうなるの？
ハァ
ハァ


ロンッ
あ…
それでいい…
身を委ねろ
ちがう…
身体が勝手に
今……
治してやる
パーサァ
な…
治す？
ハァ
ハァ
んっ
ヒクン


その女
助けるつもり
ですか？
生かして
逃がせば
我々のことが
バレかねない
こんな
どこにでも
いる女
死んだ
ところで
この世は
なにも
変わりませんよ
カチン
!?
うるさいっ
私にだって
生きる意味
あるわよ!!


スキィ
ううっ
助けられてから
考えが
変わったのよっ
モデルになって
ようやく
自分を見つけた
気がしたの！
こんなところで
死ぬわけには
いかないの!!
一度
死のうとして
ガーン
……
この機に
糧にすれば
どうですか？
パターン
フッ
あなたのため
ですよ……
クロ


クロ？
この男の名前？
あんた…っ
これ以上
触ったら
許さないからね
今度は
噛みちぎって
や……
はやく
逃げなきゃ！
この男に
捕まっては危険だ
……
じっとして
痛くはしない


グイッ
ハグッ
ブルン
きゃっ
ンっ
チュッ
んっ
ボボボ
スーハー…
ビクッ
!!
ヌチャ
グチュ
ネロネロ
やだぁっ
アッ
アッ


このケモノから
はやく逃げないと
さぁ
次は中だ
治してやる
ズル
ひゃぁ
いやっ
治すって
どういう
こと!?
グチュウ
グポッ
具合は
いいようだ
!!
ズルン
グチュ
私の身体
まるごと
食い尽くされる!!
クチュ
あぁなんっっ


苦しいだろうが
奥まで満たされるまで耐えろ
ひゃっ
ひっ
くうっ
俺の体液は傷を治す力を持っている
わかるだろ？
俺のモノが擦り込まれるたび
おまえの中に浸み込んでいくのが
ひくっ
あんた……


なんなの!?
わっ
私の身体に
なにしたの!?
こんなの
アッ
ユニァ…
人間の
できる
ことじゃ……
カタカタ
カタカタ
ゴゥ…
ヒク
鬼……
だからかな


お…
に？
恐ろしいのか？
考えるな
ハーア
ハーア
ハーヒッ
ハーフッ
んぐっ
あニッ
鬼の体液は催淫効果もある
快楽に浸っていれば気にもならないさ
スリスリ
チュー
チュー
あの時もそうだっただろう？
おまえを池から引き上げて
はあ
アッ


鬼……
だったなんて
――――……
息を吹き返したおまえは
素直だったじゃないか
もう一度助けてやる
たっぷりと飲みほしな
ビク!!
あっ


んっ
トクン
トクン
トク
ビクビクッ
コポォ
ビュビュッ
かはっ
グチャ
ハッ
ハッ
トロォ
ふっ
ビク
ビク
チュプ…
ンン
変わらない
味だな
愛里沙……


淫魔と生交わる
淫魔が時…
瑞色あき
Aki Mizuiro
ダメッ！何度も擦り込まないで…
2


この痕は
何度か鬼(おれ)と
交わえば
綺麗に
消える…
治ったら
帰ればいい
それまで
ここにいろ
愛里沙…


あったかい……
ハァ…
ユウ
そばに…
いて
クロ……
着替えを……
あの人間の血が臭います
あぁすまないな
そういえばあの時も
ずぶ濡れの着物からあの女の臭いが


!?
あっはははは
おまえ
鼻がいいなっ
そうだ
昔 溺れていた
ところを
助けたんだ
また
会うことに
なるとはなっ
俺は少し
眠る
愛里沙が
目覚めたら
なにか食べさせて
やってくれ
ク……
ギッ
ギッ
ギッ


まさか……
……ん
えっ
……っ
スキン
なにこれ！
固く結ばれて…


ハァ
ハァ
逃げられないようにってこと？
ピク
これじゃぁモデルの仕事…できない
ユッ
だからってまた……っ
でも…
また助けられた…
昔と同じ唇だった……


また
ぬくもりを
感じることが
できた
寂しかった心が
ずっと
求めていたものを
でも
あの男は――……
キィィ
なに!?
足音?
パタ
パタ
キィィ
キィィ
大人に
しては
軽そうだけど
動物?
キッ


カタ
カタ
ビクン
!?
覗かれてる!?
ドキン
ドキン
パタ
パタ
パタ
まるで
監視されてる
みたい
ひゃっ
ずっと
ここに
閉じ込められるの?
うっ
トクン
本当は……
この身体が
欲しいだけ
なんじゃ……!?


食事を
持ってきました
クロに
頼まれて
この声は…
クロと話してた
ドクン
ドクン
カチャ
ク……
クロは？
スミ
ゼクン
ユラァ…


睡眠を
とってます
あなたを
治すために
体力を
使いましたからね
角が
見当たらない
――……
あのっ
これ外して！
わっ
私 帰らなきゃ
仕事があるのっ
スイ
!?
……
ねぇ
聞いてるの!?
あなた
人間でしょ
助けて!!


くっ
早く食べないと
冷めて
しまいますよ
い……っ
すごい力……
動けない
やめ…
くぃっ
パン…
……
クロの気まぐれ
なのか
こんな女
助ける必要が
あるのか——？


気持ち良さそうに喘いでましたね
んっ
ピクッ
よだれを汚く流して
……ッ
クニ…
動物のように腰を振って
ビッ
ビッ
フルン
あなたの体液の音が
スー
やらしく鳴り響いてましたよ
はっ
はな
何この人!?


ビクン
鬼の体液のせいとはいえ
クチュ
やっ
身体はまだ欲しがっているんじゃないですか？
んぐっ
ぶぉ…♡
ぶんくぅ
おぐっ
チュル。
んっ
トロ
チュン


んん〜〜っ
チュ
ゴク
ジュルッ
唾液が流れてくる
やだ…やめて……怖い
ジュボッ
ハッ
ハフッ
ジュル…
欲しいでしょう？
グニッ
ネチョ…
チッ
認めろ！
メチッ


女はすぐ嘘をつく
ほらよだれがたくさん流れてきた
あれ…舌が痺れるなんで……
みっともない声だ悦いんだろ？
ヌプ
ヌプププッ
ひゃあああっ


身体にも
痺れが
広がってく
なんで!?
痺れが快感に
変わってく!
ヤあぁっ
ヒクン
ヒクン
グリ
グリッ
ニリュボ
ニグボッ
あっ
ンッ
ミッ
クリン
メチュッ
いっあぁっ
んんんっ
ガクッ
ガクッ
あっ
ヒクン


どうなんだ？
この男
私の身体で遊んでる――…
素直に言ったら優しくしてやる
鬼より……怖い――……
ギリ…
…っ
――ア
このままじゃ
壊される――…!!
硬いものが欲しくなっただろ？
ヌッ…


や……
めて
ガッ
ガシッ
ガタン
うぅっ
なにをするっ
あんた
なんかで
感じてない!!
触らないで
気持ち悪いっ


ユラァ…
ハァ
ハァ
なんだと…
ハッ
ハッ
角がある!!
この男も鬼――…
ハァ
ハァ
この痺れって
やっぱり鬼の体液の作用


いっ
ビリッ
ビリッ
大抵は痺れて
されるがまま
なんですがね
抵抗した女は
初めてだ
……そうか
クロが
なぜ助けたのか
わかった
すぐ食べるのが
もったいなかった
からだ……
え…


聞きましたよ
子供のころに
助けられたと
その時にクロは
あなたを
気に入ったん
でしょう
キャっ
獲物に
甘い蜜を
覚えさせれば
また求めて
やってくる
成長して
熟した獲物を
じっくり
味わうために
ズプッ
いやぁ!!


やめろ
クロ！
スッ
こっ
これは…
ビクッ
!?
見てみろ
血が…
出てるぞ


うぐっ
バタバタバタ
あっはっはっはっ
相変わらずだな
彩渡(あやと)はっ
あいつ
血が
苦手なんだ！
なんて
無邪気に
笑うんだろ……
ゾク
！
……っ
ビクン
大丈夫か？
ひゃっ


どうした？
痛むのか
やっ
触らないでっ
バケモノ!!
こっ
ここから
出して……
おかしく……なる
触られると
身体が
熱くなる
助け…て
クロ…っ
欲しくなる
愛里沙？
どうして……


!?
んぐっっっ
ゴボッ
帰そうと思ったが
やっぱりやめた
やっ
いやぁ！


生ハムと生交わる
淫魔が時…
瑞色あき
Aki Mizuiro
ダメッ！何度も擦り込まないで…
3


帰そうと
思ったが
やっぱり
やめた……
……え
スーッ
パサッ
おまえは
いい匂いが
する
花のような
甘い…
蜜の味だ……


キュッ
クリクリ
んっ
あっ
んやっ
はっミ
んうっ
レロニッ
ブルブル
あぁっあ
あぁんっ
クニクニクニ
このまま
食べられ
ちゃうの!?
逃げなきゃ
……
でも
ニュルリ
ハァ
ハァ
ひゃう
はっ
スリ
身体が
より痺れて
敏感になってて
んっ
トロ
トロォ
ムズ
ムズ
ふっ
欲しい——……
ハァ


はやく
欲しいっ
あっ
あっあ
ビク
ビクン
思いっきり
入れてほしいっ
ペロン
ヌル
すごい
溢れてるな
ガイ
彩渡と
俺の体液の
作用で
こんなに
乱れてしまう
とはな
ひゃあっ
クリちゃん
あっ
ビクーン
んんっ
ビクビクン
あぁんっ
欲しくて
たまらないか
クニィ
やっ


ハァ
ハァ
くっ
ハッ
ハッ
なんっ
なんのこと!?
この体が
欲しいって
言ってるじゃ
ないか
ほら
ヒクン
グチャア
ヒクン
あぁんっ
やぁん
んっっ
キュン
グニィ
真っ赤に
腫れてて
切なそうだ
このままじゃ
治まらないぞ?
チュク
チュクン
自分で
どうにか
するなら……


スッ
やめるが
やっ
くっ…
さぁ
どうする？
愛里沙
ドクン
ドクン
ギン
ギン
ドクン
足を開いて
ねだってみろ
そしたら……
ドクン
ドクン
ギシ…


いっ
いれ…て
がまん
でき……ない
メプッ
ズブブブ
クププッ
ハわぁ
あっ熱い！
ビクビク
んはぁ
ジュブブ
やぁんっ
内部(なか)が
うねってる
気持ち
いいか？
ビキンビキン
ハアハア
う
んっ


ハァハァ
動いて…ぇ
ペロッ
どんな風にだ？
欲しいままに
言ってみろ
愛里沙
ジュププッ
んっ
ユサ
ユサ
スリスリ
コリ
ズクッ
ズヌッ
んふっ
くっ
そんな
浅いとこ
じゃ
ププ
ププ


チュッ
あ…
浅いとこばっかりやだ……
もっときて
クロ……
ピクン
ドクン
!?
んあぁぁ！
ビクン
ビュビュルルッ
ビクン
んふっ
ビクン
ゴボボボ
ビクビクン
ふっ…


ハァハァ
ハァハァ
ヒクッ
ハーッハーッ
ハーッ
クロぉ？
まだ
足りないのに
ガクッ
ガブッ
!?
ビクン
ひっ
やっ
キリィ
ズブン
パチュン
あっ
うぐっ
くっ
グッ
グッ
まって


こんなのっ
どう……
ぶつ みたい
あうっ
はずか
……んっ！
愛里沙
匂いが
どんどん
強くなってる
あ…
これか
いたっ
……っ


ヒカーン
きゃっ
ペロン
すぐ治る……
ちょっくすぐったい
ペロン
ペロン
チュパ!!
んっ
や……だぁ
ハァ
ハァ
いっ
ハァ
んっ
クゥ


なんだ
キュッ
悦いのか
チュ
あぁんっ
ビクン
鬼でも
いいとか
思っちゃった
アッ
アッ
ハァ
ハァ
……
クロがなぜ
助けたのか
わかった
……もったいない
からだ
んくっ


ふっ
んんっ
チュパ
本当に
食べる気
なの？
優しいキス
なのに――……
クッ
ん？
どうした？
私のこと
いずれ…
食べるために
助けたんでしょ


誰が？
!?
え……
あなたが
なんで？
だって
鬼だから！
俺には
名前がある
さっき
みたいに
呼んで
くれないか
ク……
ドキ
ドキ
なに？
この感じ
クロが
私を


ペロン
ひゃっ
ペロペロ
やん
ちょっ！
チュルル
やっ
ハチュン
おっ
んあぁっ
クリ
チュンっ
ハチュン
やだぁ
ぃんっ
食べる……
ならっ
優しく…
しないでぇ


あっ
やっ
殺すなら
ひとおもいに…っ
キュウ
クロ!!
愛里沙っ
スリスリ
はぁぁっ
クポッ
もっとぉ!!
チュパ
ぢゅっ
イク…
グチュ
ぢゅ〜〜っ
ギッ
ギッ
もう…っ


はっはやくぅ
ちょうだ……い
愛里沙……っ
!!
んんくっ


なんか
クロ……
喜んでる？
ウトッ
ユラァ
スゥ
スゥ
角や牙は
あるけど
寝てると
普通の男
みたい…
ボ
睫毛も
長くて
綺麗な肌
だなぁ……


バッ
バン
かぁあああっ
あわわわっっ
私っ今
ドすっぴん
状態じゃない!?
やば
あれだけの行為の
あとだもの
メイクドロドロ
眉毛も消えてる
はず――!!
絶対汗臭い!
お風呂入りたい
いますぐにぃぃ!
メイク道具ポーチ
洗面所もくっっ
スキンケアも
徹底してるし
モデルとして
自信はあるけど
おぉぉぉっ
メイクとの
ギャップあるとか
女のくせに臭うとか
思われたくない!
ん……
モゾ…
じっくり
視られて
たいしたこと
ないとか
思われたら
どうしよう!?
起きない
でぇ〜
髪の毛も
ボサボサだしっ
かぁあああっ
こんなんじゃ
クロに
嫌われちゃう
かも……!


あれ……
ドキン
……私
ドキン
なんで
こんなに
焦ってるの？
ドキン
ずっと
想ってた男
だけど
この男は
人間じゃないのに
こんな気持ち
変よ――……
ドキン
鬼って
やっぱり人間を
食べたり
するのよね……
痕も
ほとんど
消えたし
痛くない
メイクで
隠せば
大丈夫…よね
い……
今のうちに
逃げたほうが
いいはず
いつか
食べられ
ちゃうかも
しれないん
だから


!?
あ…の
食べやしないさ


俺のそばにいないか？
愛里沙……
君にずっと会いたかった……
ここにいてくれ


カタッ
あっ
あの！
そこの
宮司さんっ
捜して
○月×日行方不明
愛里沙
ブルブル
この子
見かけません
でしたか？
昨日から
行方不明に
なっていて
どうか
しましたか？
…さぁ
見てない
ですねぇ
水着姿なら
印象に残る
ハズですし
そっ
そんなぁ
パキ
パキ


この辺は熊が出るんですよね
食べられてしまったらなにも残らないって話で…
ナッ
ナシ
パク
パク
ナ～～～ア
グシャ
タッ
タッ
タッ
タッ
愛里沙ぁ
無事でいてくれ
――ぇ
……
ナ～アシ
バチッ
バチッ
バチッ
ゴオオオオ
なにもね……